

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM14Z002	心理学 (Psychology)	基礎教育科目 社会・経済

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	1	後期	木・3	氏名 川崎 隆 内線： E-mail：

【授業の概要・到達目標】

心理学は心を対象にする学問である。心の仕組みや動きを探求する学問である。心理学的事象は誰にとっても身近にあるものであり、心理学を学ぶことで、自身の個人的問いに示唆が得られることもあるだろうし、専門家になる上での基盤となる態度を形成することも期待できる。本講義では、受講生自身のためになること、専門家としての成長に寄与するという観点から、膨大な心理学の領域からテーマを厳選し、講義を行う。毎回の講義後にリアクションペーパー（講義に対する意見や疑問の記述）を求め、次講義においてリアクションペーパーを踏まえた講義をする。授業の回によってはグループでのディスカッションを行う。学期末に試験を行う。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 講義と主体的な学習を通して、人間の心や行動を心理学的観点から理解し、考察する。	○	○				○	○
2. 自身の疑問や感想を整理し、表現する。	○	○		○		○	

【授業の内容】

1	オリエンテーション、心理学とは	9	心の生涯発達①：乳幼児の心理学
2	心理学の歴史	10	心の生涯発達②：青年期の心理学
3	情動	11	パーソナリティ
4	注意・認知	12	自己と対人関係
5	思考	13	集団と社会
6	動機づけ	14	臨床心理学① 基本的な概念
7	学習①（学習の基本的側面）	15	臨床心理学② 代表的な理論
8	学習②（2種の条件づけと臨床心理学的応用）		

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	毎回の授業後にリアクションペーパーの作成を課す。授業ではグループディスカッションを取り入れて、相互の学び合いを促進する。Moodleを活用する。
B：意見の表現・交換	○	
C：応用志向		
D：知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	参考文献や配布資料をもとに予習する（20h）。
事後学修	リアクションペーパーを作成する（5h）参考文献や配布資料をもとに復習する。（20h）。

【教科書】教科書は指定しない。

【参考書】

大川一郎・土田宣明・高見美保編著『基礎から学べる医療現場で役立つ心理学』ミネルヴァ書房、2020年、ISBN-13：978-4623070664
行場次朗・大淵憲一『心理学概論（ライブラリ心理学の杜1）』サイエンス社、2021、ISBN-13：978-4781915081

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
小レポート	10%	○	○		
筆記試験	80%	○	○		
出席状況と授業への取り組み	10%	○	○		

【注意事項】成績評価の割合は目安であり、総合的に評価する。

【備考】授業内容は、進行状況により一部変更する場合がある。

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	大分県スクールカウンセラー（高等学校）、臨床心理士、公認心理師	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	現場の経験と研究の成果から、心の病に関する今日の問題、心の病の理解やその支援の方法、対人関係の築き方等について講義し、受講生の理解を深める。	
授業形態	面接授業	